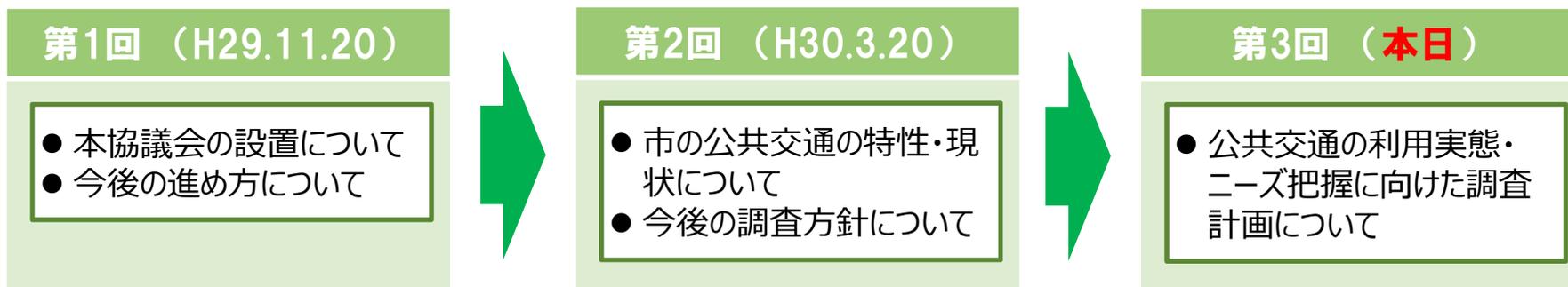


『石狩市地域公共交通網形成計画』策定に向けた 調査実施計画について

平成30年6月26日（火）



1. これまでの検討経緯と前回協議会の主なご意見



▼各委員からの主なご意見 (第2回協議会)

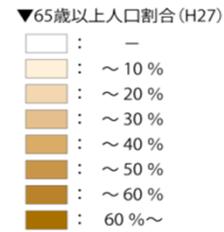
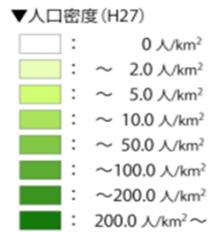
- 厚田まではバスが走っているが、バス停で待っている時間が非常に長いのと便数がすごく少ないので石狩方面に出て行くのも自宅に帰るのもロス時間が多いため、もっと便数を増やして欲しい。
- 国道231号はまっすぐな道路なので、車やバイクのスピードがすごく速い。自転車も走っている。歩道がないので歩きたくても歩けない、バス停に行くまでも命がけみたいなきももある。バス停まで行くのに歩道がないというのは、今後のテーマになると思う。
- 石狩湾新港地域は企業アンケート調査だけではなくて、関連団体との意見交換も必要である。福祉有償や公共交通空白地でもアンケート調査、ヒアリング調査、バス乗降調査の意見交換などの情報共有も項目に入れておくべきだと思う。
- 地域福祉懇談会では、住民の方たちと懇談しているが、移動支援については非常に課題になっている。病院の送迎バスも住民の方にしてみれば、移送手段として考えている方も結構いる。
- 厚田の高校生がきちんと部活をやる時間が保障されるようなバス体系にして欲しい。

2. 地域特性の概況

- 石狩市の市域は南北に長く広がっており、市の都市施設は南部に集中している。
- 旧石狩市南部の人口密度が高く、また、浜益・厚田地区では65歳以上人口割合が50%以上と高い。

人口密度 (H27)

65歳以上人口割合 (H27)



距離 : 約59km
所要時間 : 車 65分

距離 : 約30km
所要時間 : 車 36分



資料 : 国勢調査



資料 : 国勢調査

3. 上位計画・関連計画の視点

◎石狩市の地域特性等の背景を踏まえ、石狩市のまちづくりに関する各種計画のなかでは、将来に向け、石狩市全域を捉えた移動支援の在り方など、多方面から謳っている。

上位計画・関連計画	公共交通に関する主な記載内容	視点
第5期石狩市総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域や市街地それぞれにおける移動支援の在り方の検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（市内全域）
	<ul style="list-style-type: none"> 収益性の低い地域におけるバス路線の維持、軌道系交通機関の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（郊外部） ■新たな交通手段
石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> 浜益区において区民の生活交通を確保するため、自宅前から目的地まで運行するデマンド交通を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（郊外部） ■新たな交通手段
	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢社会における公共交通の維持・確保及び利便性の向上を図るため、関係機関との連携のもと、地域特性や利用者ニーズを踏まえた運行形態の改善や新たなバス利用システムの導入等について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（市内全域）
石狩市都市マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の通勤・通学時間の定時性や安全性、快適性が確保できる軌道系交通機関の導入やバスによる連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（定時性確保等） ■新たな交通手段
	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢社会に対応し、高齢者や障がい者など、全ての人が安心して利用できる公共交通機関の実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（交通弱者）
	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス混乗や市有自動車運送事業、過疎地有償運送事業の活用により、地域特性や交通弱者に対応した交通環境の整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（交通弱者） ■新たな交通手段
	<ul style="list-style-type: none"> 厚田、浜益地区における路線バスの維持に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（郊外部）
石狩市住生活基本計画	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通間環境の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援
石狩市過疎地域自立促進市町村計画	<ul style="list-style-type: none"> 厚田区、浜益区を縦貫する国道231号のルートを通る公共交通手段は将来とも確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（郊外部）
	<ul style="list-style-type: none"> 厚田区内にある札幌方面への路線バスの発着点と浜益区を結ぶデマンド交通の運行などを通じて、地域生活に必要な交通の確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援（ネットワーク）
第2次石狩市観光振興計画	<ul style="list-style-type: none"> 周遊の促進を図るため、市民や観光ボランティアガイド、石狩観光協会などと協働して多彩なモデルコースを作成するほか、二次交通事業者とも連携しながら広くPRしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■周遊観光 ■二次交通

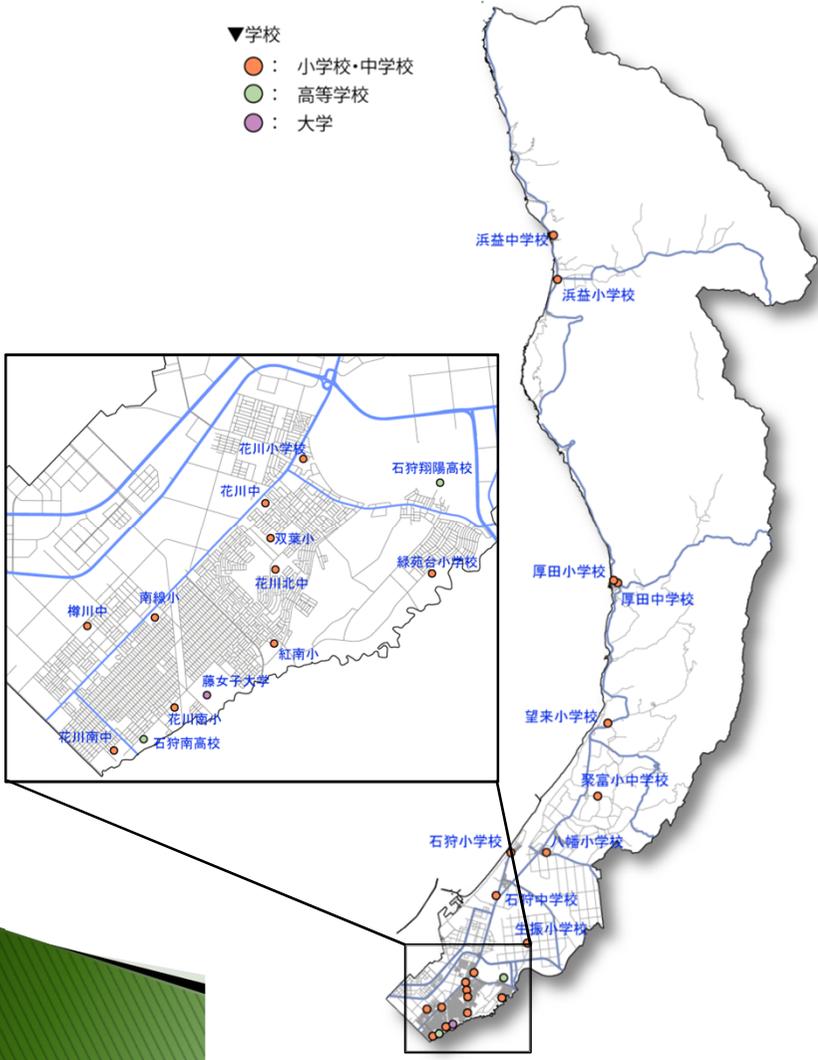
4. 石狩市の公共交通が抱える課題

【目的地が分散し広域的な流動特性】

都市施設が南部に集中している（1）

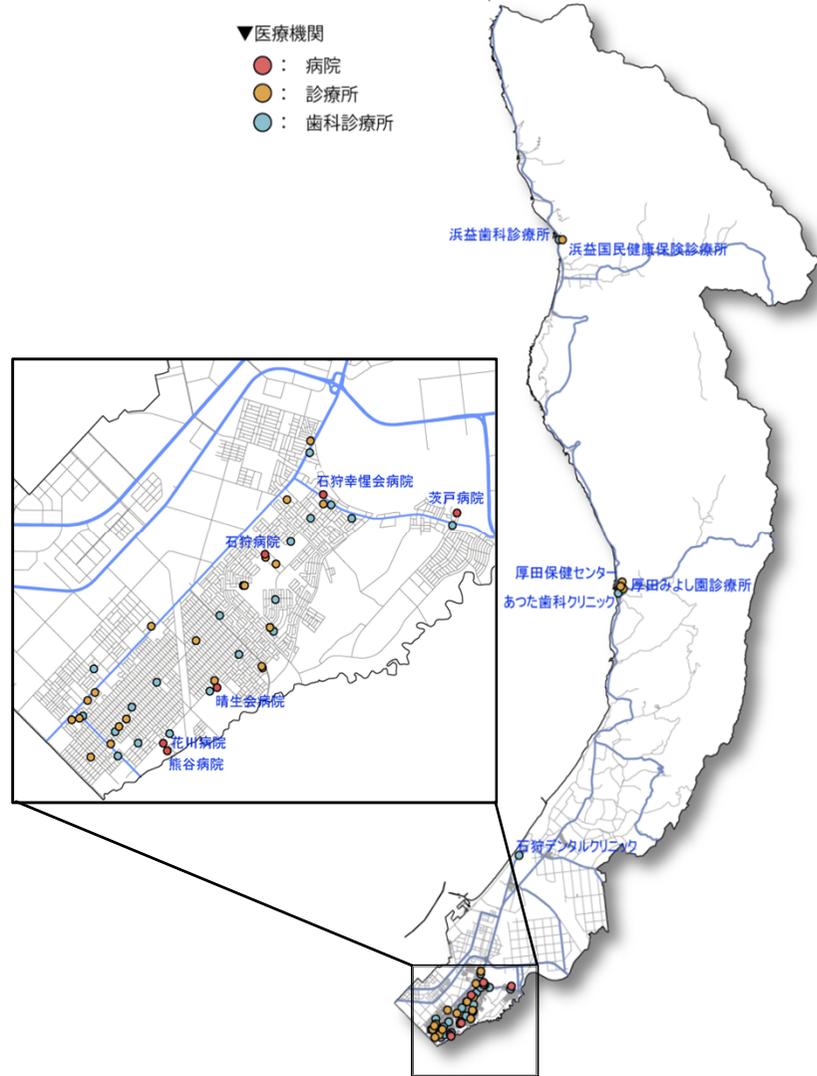
学校

- ▼学校
- : 小学校・中学校
- : 高等学校
- : 大学



医療機関

- ▼医療機関
- : 病院
- : 診療所
- : 歯科診療所



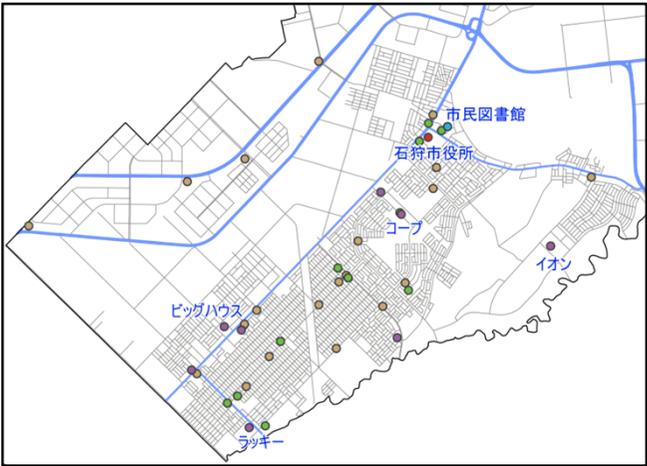
4. 石狩市の公共交通が抱える課題

【目的地が分散し広域的な流動特性】

都市施設が南部に集中している（２）・観光資源が市域全体に分散している

公共施設・商業施設

- ▼公共施設・商業施設
- ： 市役所・支所
- ： 図書館
- ： コンビニ
- ： スーパー・店舗
- ： 郵便局・銀行



観光施設

- ▼観光施設
- ： 観光施設

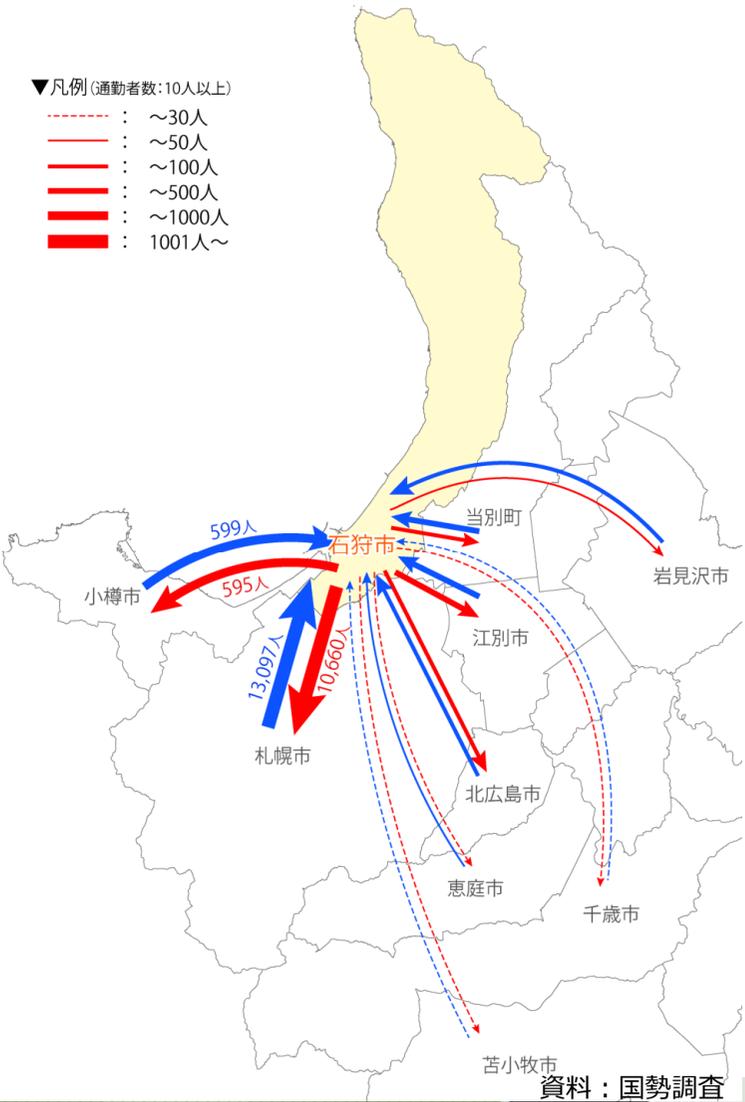


4. 石狩市の公共交通が抱える課題

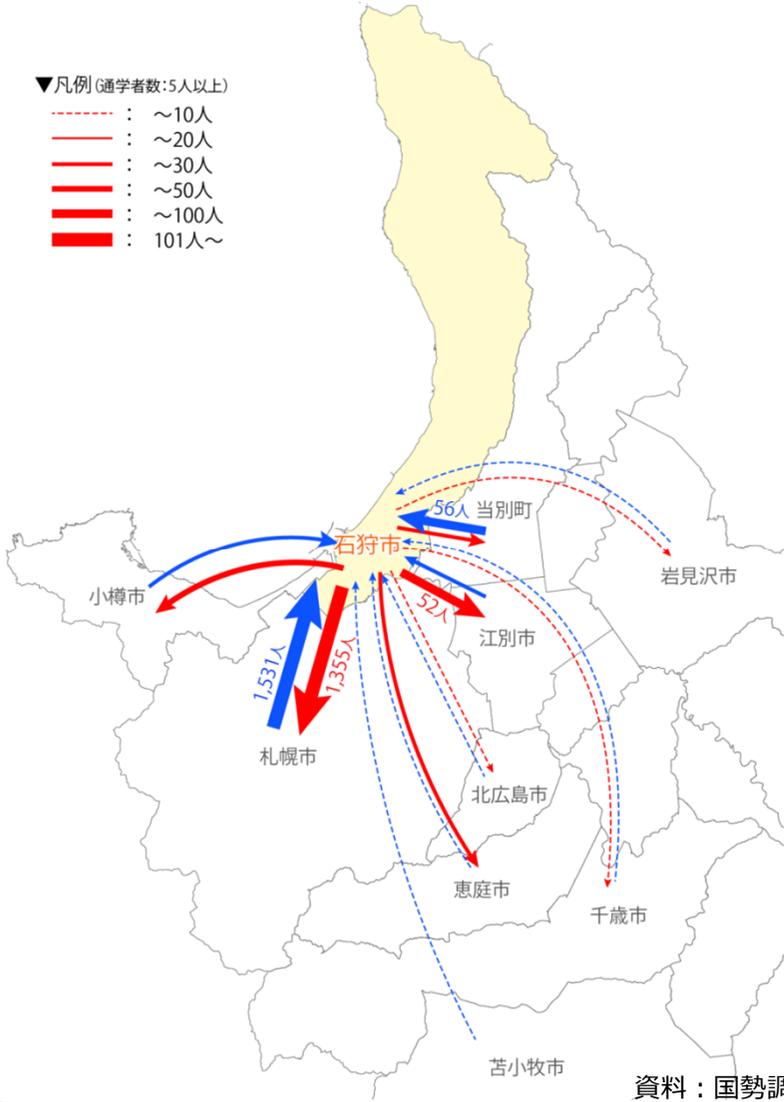
【目的地が分散し広域的な流動特性】

札幌市との流動が活発

通勤流動 (H27)



通学流動 (H27)



4. 石狩市の公共交通が抱える課題

公共交通の空白地および不便地域の存在

札幌市からの就労者が多い石狩湾新港地区は、路線バスの便数が少なく札幌市とのアクセス性が低い。自家用車や企業送迎バスでの通勤を強いられている。

▼凡例

《用途地域》

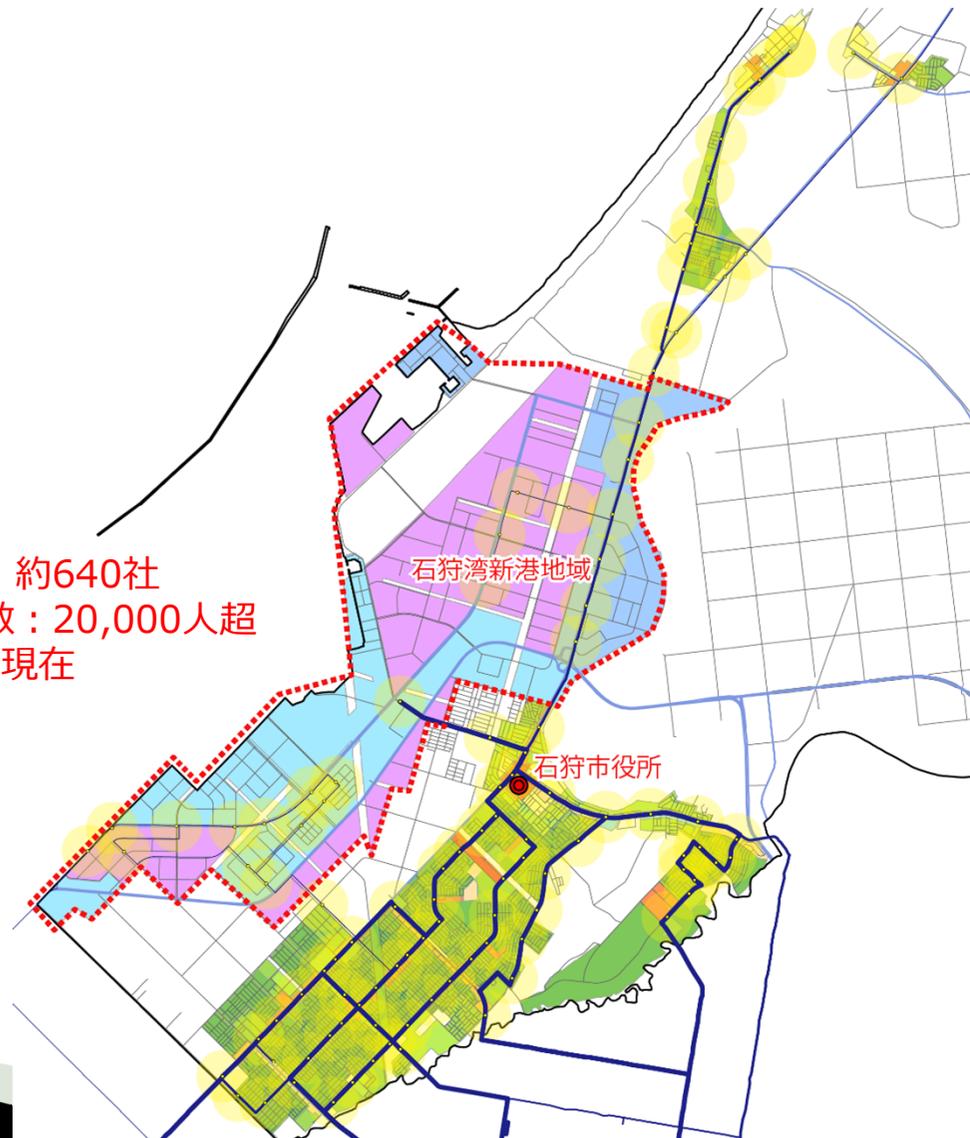
-  第一種低層住居専用地域
-  第二種低層住居専用地域
-  第一種中高層住居専用地域
-  第二種中高層住居専用地域
-  第一種住居地域
-  第二種住居地域
-  準住居地域
-  近隣商業地域
-  商業地域
-  準工業地域
-  工業地域
-  工業専用地域

《バスルート》

-  : 1~5本/日
-  : 6~10本/日
-  : 11~15本/日
-  : 16~20本/日
-  : 21本/日以上

-  バス停
-  バス停~半径300m

- 操業企業：約640社
- 就業者総数：20,000人超
- ※H30.6月現在

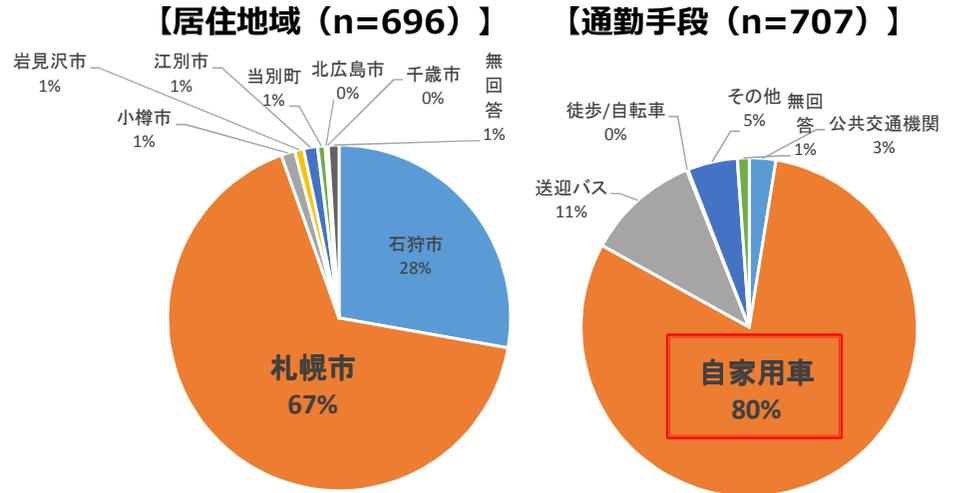


4. 石狩市の公共交通が抱える課題

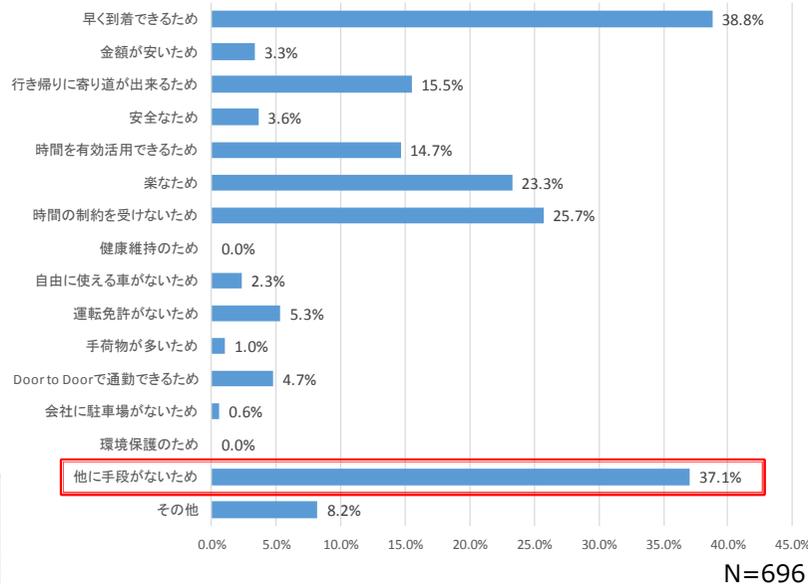
【石狩湾新港地域の交通環境に関するアンケート結果より（H29年3月実施）】

- ◎石狩湾新港までの通勤は札幌市からの流動が多い
- ◎石狩湾新港まで自家用車で通勤する割合が高い
- ◎「公共交通の不便さ」や「石狩湾新港地域へのアクセスの悪さ」に課題を感じる声が多い

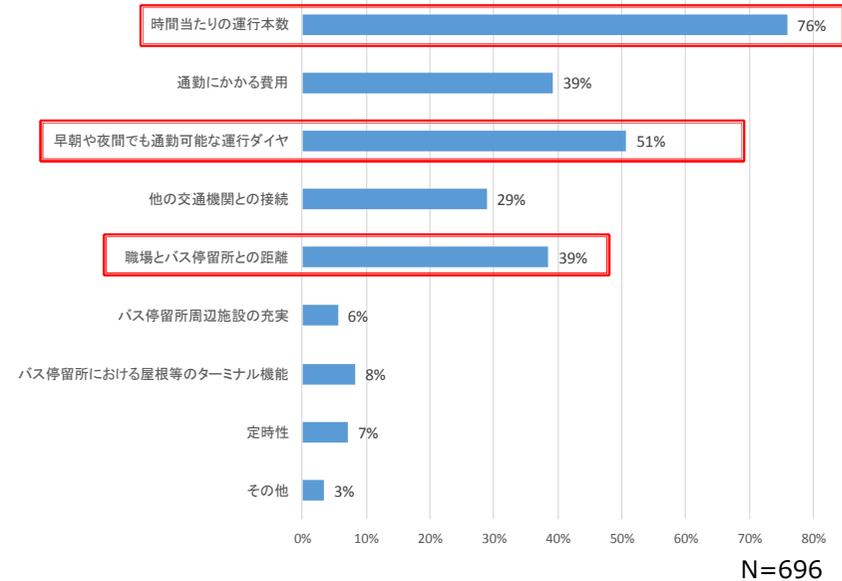
公共交通の空白地および不便地域の存在



【現在の手段で通勤している理由】



【通勤手段を公共交通機関に切り替える条件】



4. 石狩市の公共交通が抱える課題

公共交通の空白地および不便地域の存在

生振、美登位、八幡地区には公共交通の空白地が広がっており、地域住民の移動は自家用車やタクシー等に頼らざるを得ない。

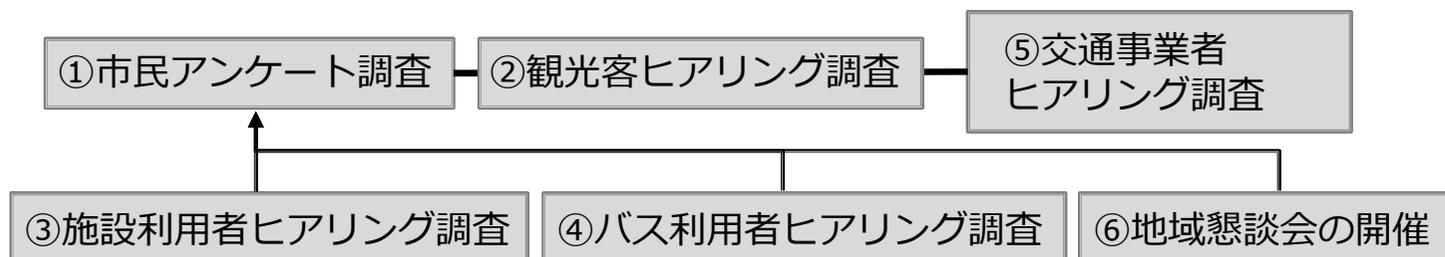
利用者の減少が進む浜益・厚田地区では、H28.3で路線バスを廃止し、H28.4よりワゴン車によるデマンド交通「浜厚線（浜益厚田間乗合自動車）」の運行を開始。



5. 調査の目的と把握内容

- 調査は石狩市全域を対象に、バス利用者の実態や意識を把握し、将来に向けた適切な移動手段を検討するための基礎資料（公共交通課題の深度化と新たな課題の発掘）を得ることを目的とする。
- 「①市民アンケート調査」でバス利用時のODを把握するが、補完調査の位置付けとして、調査員がバスに乗車して計測する「④バス利用者ヒアリング調査」も実施する。なお、「③施設利用者ヒアリング調査」についても「①市民アンケート調査」の補完調査と位置付けて実施する。
- 「⑤交通事業者ヒアリング調査」で公共交通全体の運行状況・課題・ニーズ等を把握する。
- 「⑥地域懇談会」で地域住民の感じる課題・ニーズ等を把握する。

調査項目	把握内容	
	移動実態	利用意識
①市民アンケート調査	現状の移動手段・OD（バス利用者のみ、利用頻度等含む）	満足度・利用意向・潜在需要等
②観光客ヒアリング調査	現状の移動手段・OD（バス利用者のみ、利用頻度等含む）	満足度・利用意向・潜在需要等
③施設利用者ヒアリング調査 ※①市民アンケート調査の補完	現状の移動手段・OD（バス利用者のみ、利用頻度等含む）	満足度・利用意向・潜在需要・バス待合い機能（要望）等
④バス利用者ヒアリング調査 ※①市民アンケート調査の補完	OD・利用頻度等	—
⑤交通事業者ヒアリング調査	利用状況、収支状況等	公共交通に関する利用ニーズ課題等
⑥地域懇談会の開催	—	公共交通に関する利用ニーズ デマンドバス運行に対する抵抗感・利用意向・改善点等



6. 調査対象と調査内容

◎各調査の対象及び内容は以下を予定する。

調査項目	調査対象	調査内容
①市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩市全域を対象 ◎石狩市南部地域【9地区】 (新港・樽川・花川・花川東・花川北・花川南・花畔・緑苑台・本町※) ◎石狩市中部地域【6地区】 (生振・八幡・緑ヶ原・志美・北生振・美登位) ◎石狩市北部地域【2地区】(浜益・厚田) <p>※本町地区：本町、船場町、弁天町、横町、新町、浜町、仲町、親船町、親船東</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■全地域（地区）を対象に、それぞれの人口分布を考慮しポスティング調査を実施。 (中部・北部地域は町内会経由で配布) ■回収率を30%と見込み、各地区の回収数が概ね100票以上となるよう配布を行う。 (中部・北部地域は町内会経由のため回収率60%と設定)
②観光客 ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩市の主要な観光施設を対象（以下、候補） ◎はまなすの丘公園ビジターセンター（旧石狩地区） ◎道の駅石狩「あいろーど厚田」（厚田区） ◎浜益温泉（浜益区） 	<ul style="list-style-type: none"> ■石狩市全域に点在する主要な観光施設にて、ヒアリング調査を実施する。 ■全3施設にて各100票以上のサンプルを目標とする。 ■施設選定に至っては、年間でコンスタントに観光客が訪れ、入込数が多いことを念頭に置く。
③施設利用者 ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩市民の日常生活に関わりの深い主要な施設を対象（以下、候補） 【買い物施設】 ◎イオンスーパーセンター 石狩緑苑台店 ◎コープさっぽろ石狩店 ◎ビッグハウス花川店 【医療施設】 ◎石狩病院 ◎花川病院 【公共施設】 ◎石狩市役所 ◎石狩市市民図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ■石狩市内（南部市街部）の買い物施設・医療施設・公共施設にて、バス利用者に対し、ヒアリング調査を実施する。 ■各施設で20票以上のサンプルを目標とする。 ■買い物施設は、自家用車利用が多いロードサイド型店舗ではなく、住宅地に近い徒歩や自転車利用も多く見込まれる店舗を選定。 ■医療施設は総合診療の病院を選定。 ■公共施設は執務等の特定の利用が多い市役所に加え、多属性の利用が見込まれる図書館も選定。
④バス利用者 ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩市内を運行する中央バスの路線を対象 ◎中央バス全11路線 (市街10路線・郊外1路線) 	<ul style="list-style-type: none"> ■各便にて、調査員の目視調査並びにヒアリング調査を実施する。 ■調査は基本的に朝・夕の各1便を対象とする。
⑤交通事業者 ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通を運行する交通事業者を対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■直接面談形式でのヒアリング調査を実施する。 ■併せて、事業者保有資料を借用し、利用実態把握を実施する。
⑥地域懇談会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●旧石狩地区・厚田地区・浜益地区にて開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■スクール形式で地域住民意見の聞き取りを行う。

7. 調査方法

①市民アンケート調査

- 石狩市内3地域で合計約3,400票のアンケート配布を行い、回収目標は約1,000票を見込む。
- 各地域の調査方法は、市内のなかでも人口密度が高い石狩市南部地域に関しては、約2,500世帯へのポスティング（郵送回収式アンケートを投函）とし、人口密度が低く、世帯が点在する石狩市中心部及び北部地域は町内会経由による約900世帯への配布（後日回収）とする。
（回収率は、南部地域（郵送配布）は30%、中部及び北部地域（町内会経由配布）は60%と設定）
- 石狩市北部地域は過年度に実施したデマンド交通に関するアンケート調査結果も活用する。
- 配布するアンケート票は、世帯票と世帯のうちバス利用者のみが回答する個人票の2種を用いる。

期間 配布：7月中旬、回収：8月下旬

世帯票の内容

- ・回答者の性別、年齢、職業、お住まいの地域
- ・世帯構成
- ・現状の移動手段（世帯全員分）→**バス利用者は個人票も記入**
- ・移動する際の課題、問題点
- ・公共交通の満足度
- ・今後公共交通を利用する意向
- ・公共交通の利用を促すために必要な点など

個人票の内容

- ・回答者の性別、年齢、職業、お住まいの地域
- ・バスの利用頻度、利用時間
- ・利用するバス停（発着地）とバス停までの交通手段
- ・バスの利用目的
- ・バス運賃の支払方法

一 配布・回収数 (H30.1月住民基本台帳より) 一

地域(地区)	世帯数	人口	配布数 (対世帯)	回収目標	
石狩市南部地域	新港	43	89	43	13
	樽川	2,243	6,225	350	100
	花川	4	4	4	1
	花川東	558	1,219	350	100
	花川北	7,417	14,931	350	100
	花川南	11,285	23,768	350	100
	花畔	972	2,169	350	100
	緑苑台	1,053	3,025	350	100
	本町※	874	1,627	350	100
小計	24,449	53,057	2,497	714	
石狩市中心部地域	生振	198	334	170	100
	八幡	599	1,189	170	100
	緑ヶ原	238	450	170	100
	志美	9	18	9	5
	北生振	54	139	54	32
	美登位	19	54	19	11
小計	1,117	2,184	592	348	
石狩市北部地域	厚田区	1,047	1,917	170	100
	浜益区	795	1,349	170	100
小計	1,842	3,266	340	200	
合計	27,408	58,507	3,429	1,262	

※本町地区：本町、船場町、弁天町、横町、新町、浜町、仲町、親船町、親船東

7. 調査方法

②観光客ヒアリング調査

- 石狩市内の主な観光施設3箇所にて利用者へのヒアリング調査を行う。
- 聞き取り数は各施設100票を目標とする。
- 対象施設は、市内に点在する観光施設の周遊ルートを想定し、観光入込数が多い施設を選定する。
- 観光施設には、海水浴場や農水産物の販売など季節限定営業の箇所も多く含まれるため、通年営業で幅広い利用属性が見込まれる観光施設を選定する。
- アンケート票の内容は客観的な視点で公共交通の利用可能性等を問うものとする。

アンケート票の内容

- ・回答者の性別、年齢、居住地等
- ・来訪頻度、旅行形態
- ・立ち寄り箇所と交通手段
- ・観光地までバスを利用しない理由
- ・バスの利用に転換する可能性
- ・バスを利用した場合のOD
- ・観光施設におけるバスの満足度
- ・観光施設の周遊におけるバスに期待することなど

▼調査事例



— 主な観光スポット —

(※単位：人 資料：北海道石狩市基本計画【石狩市の観光入込客数(平成28年度実績)】数日開催のイベントやゴルフ場は除く)

観光スポット		入込数
旧石狩	石狩浜海水浴場	175,882
	石狩市観光センター「ゆめぼと」	10,738
	はまなすの丘公園ビジターセンター	28,724
	番屋の湯	163,684
	JA地物市場とれのさと	204,813
	サーモンファクトリー	133,521
	砂丘の風資料館	2,638
	新港朝市	14,100
厚田区	道の駅石狩「あいろーど厚田」	H30.4開業
	戸田記念墓地公園	464,079
	厚田公園	4,643
	厚田港朝市	26,000
	あいロード夕日の丘観光案内所	18,897
	海水浴場	23,064
	濃昼海浜キャンプ場	2,300
	フロンテア乗馬クラブ	5,250
厚田海浜プール	14,631	
浜益区	浜益温泉	56,031
	川下海水浴場	23,018
	川下海浜公園キャンプ場	18,863
	千本なら	3,063
	黄金山	1,729
	郷土資料館	1,145
ふるさと朝市	10,900	

候補施設

- はまなすの丘公園ビジターセンター
- 道の駅石狩「あいろーど厚田」
- 浜益温泉

7. 調査方法

③施設利用者ヒアリング調査

- 石狩市内の買い物施設、医療施設、公共施設の計7箇所にて、バス利用者に対しヒアリング調査を行う。
- 聞き取り数は各施設20票を目標とする。
- 対象施設について、買い物施設及び医療施設は市内のなかでも規模の大きい施設を選定し、公共施設は、多属性の利用が見込まれる施設を選定する。
- 各施設の最寄りのバス停を利用した施設利用者を対象にヒアリング調査を行う。バス停利用の判断は目視による降車後の 追跡等を実施。

アンケート票の内容

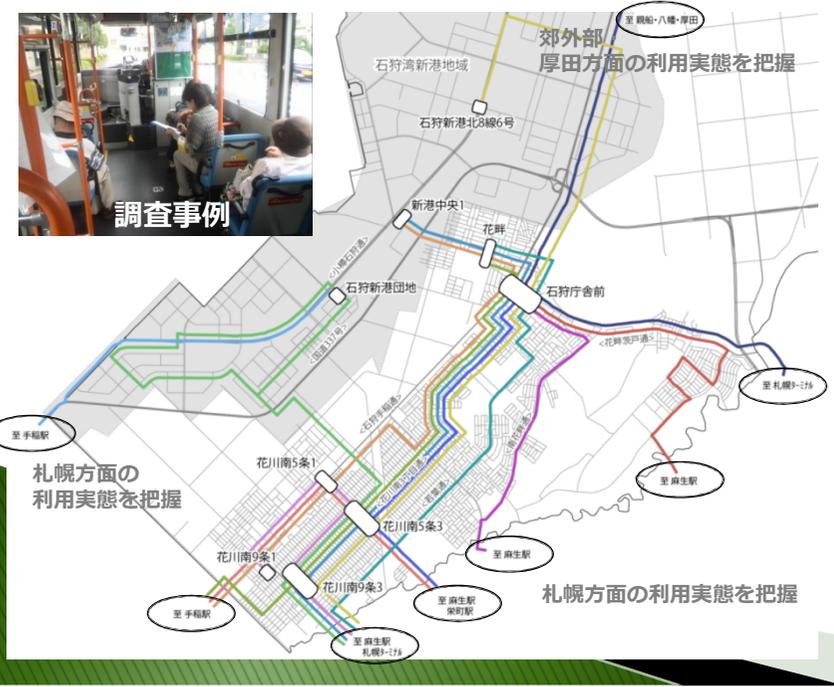
- ・回答者の性別、年齢、居住地等
- ・当該施設の来訪目的
- ・交通手段（利用した全て）
- ・利用するバス停（発着地）
- ・バスの利用頻度
- ・バスの満足度
- ・公共交通に期待する事
- ・バス利用時における課題、問題点



7. 調査方法

④ バス利用者ヒアリング調査（1）

- 石狩市内を運行する中央バス路線（系統）を対象に利用客へのヒアリング調査を行う。
- 調査は朝、夕の各1便で実施し、幹線系統路線で50便を対象とする。（次頁）
- 各便に調査員が乗車し、利用客に対し職業、目的地、目的、利用頻度、乗り継ぎ方法などの聞き取りを行うほか、目視にて性別、年代、乗降のバス停を観測する。
- 混雑時は、十分な聞き取りを出来ないことが予想され、その際は目視観測（ODなど）のみを実施する。



調査内容	
性別	1. 男性 2. 女性
年代	～歳代（見た目で判断）
幼児同乗有無（有り⇒人数を記入）※抱かされている幼児は除く	
乗車バス停（別紙バス停名Noを記入）	
降車バス停（別紙バス停名Noを記入）	
職業	1.公務員 2.会社員 3.自営業 4.農業 5.パート・アルバイト 6.学生 7.主婦 8.無職 9.その他
目的地（具体的に）	
利用目的	1.通勤 2.通学 3.通院 4.買物 5.業務 6.帰宅 7.その他私用
利用頻度	1.ほぼ毎日 2.週に数回 3.週に1回 4.月に数回 5.月に1回 6.年に数回 7.ほぼ乗らない
乗り継ぎ（乗車前）	1.徒歩 2.自転車 3.自家用車（運転） 4.自家用車（送迎） 5.地下鉄 6.JR 7.バス 8.タクシー 9.その他
乗り継ぎ（降車後）	1.徒歩 2.自転車 3.自家用車（運転） 4.自家用車（送迎） 5.地下鉄 6.JR 7.バス 8.タクシー 9.その他

7. 調査方法

④バス利用者ヒアリング調査（2）

路線・系統		調査対象方向（起終点）	備考	調査対象便数		
				朝	夕	合計
緑苑台線	麻08	麻生駅 ⇄ 石狩庁舎前	屯田10条3経由	2（各1）	2（各1）	4
花川南団地線	14	札幌ターミナル ⇄ 石狩庁舎前	花川3丁目経由	2（各1）	2（各1）	4
花畔団地線	麻13	麻生駅 ⇄ 花畔	花川3丁目経由	2（各1）	2（各1）	4
	麻15	麻生駅 ⇄ 花畔	花川5丁目経由	2（各1）	2（各1）	4
	16	札幌ターミナル ⇄ 石狩庁舎前	花川5丁目経由	2（各1）	2（各1）	4
南花畔通線	麻17	麻生駅 ⇄ 石狩庁舎前	花川南1条6経由	2（各1）	2（各1）	4
麻生樽川線	麻40	麻生駅 ⇄ 花川南5条1		2（各1）	2（各1）	4
石狩新港団地線	-	麻生駅 → 日成産業前 機械金属組合会館前	朝のみ運行	1		1
	-	麻生駅 ← 日成産業前 機械金属組合会館前	夕のみ運行		1	1
石狩新港線	-	麻生駅 → 新港北8線6号	朝のみ運行	1		1
	-	麻生駅 ← 新港北8線6号	夕のみ運行		1	1
石狩新港西線	-	手稲駅北口 → 石狩新港団地	朝のみ運行	1		1
	-	手稲駅北口 ← 石狩新港団地	夕のみ運行		1	1
手稲線	宮47	地下鉄宮の沢駅 ⇄ 花畔	手稲駅北口経由	2（各1）	2（各1）	4
	43	手稲駅北口 ⇄ 花畔	前田中学校経由	2（各1）	2（各1）	4
栄町花川線	栄19	栄町駅 ⇄ 石狩庁舎前	北稜高校経由	2（各1）	2（各1）	4
郊外路線	札厚線	札幌ターミナル ⇄ 道の駅あいろーど厚田		2（各1）	2（各1）	4

50

7. 調査方法

⑤交通事業者ヒアリング調査

- 交通事業者（バス事業者・タクシー事業者）へのヒアリング調査を実施し、現状の公共交通の運行状況分析に加え、利用状況や収支、今後の公共交通維持に向けた課題・ニーズ等を把握する。
- ヒアリング調査は直接面談方式の聞き取り調査を予定（調査実施時期：7月～8月）

対 象	内 容
バス事業者（中央バス） タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用状況、ニーズ、課題等を把握 ・主要系統における利用者データ等を収集し、定時性等の観点から利便性を分析
関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ・JR手稲駅や地下鉄麻生駅・栄町駅との連携強化が想定されるため、札幌市の交通担当者との連携に関する協議、調整を実施

⑥地域懇談会

- 3地区（旧石狩地区、厚田地区、浜益地区）で地域懇談会を実施し、地域住民の公共交通の利用ニーズや利便性向上に向けた方策、デマンドバスに対する抵抗感、利用意向等を把握する。

地 区	<ul style="list-style-type: none"> ①旧石狩地区 ②厚田地区 ③浜益地区
手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール形式による意見抽出 ・開催時期：7月～8月 ・開催回数：各地区1回



開催事例

8. 今後のスケジュール

項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状把握・整理											
都市基礎情報の整理		■	■	■							
各種計画の整理および達成度の点検		■	■								
公共交通の現状把握・整理											
公共交通の運行状況の把握		■	■	■	■						
公共交通運行事業者の経営状況の把握		■	■	■	■						
公共交通空白域・不便地域の把握		■	■	■	■						
公共交通の利用実態およびニーズ把握調査											
市民・観光客アンケート調査、企業アンケート整理			■	■	■	■					
交通事業者、バス利用者、主要施設等でのヒアリング			■	■	■	■					
地域懇談会(3地区)			■	■	■	■					
計画の方向性および事業案の検討											
公共交通網の課題整理			■	■	■	■	■				
計画方針の検討			■	■	■	■	■				
事業案及び役割分担の検討			■	■	■	■	■	■			
地域公共交通網形成計画の策定											
地域公共交通網形成計画の策定							■	■	■		
石狩市地域公共交通網形成計画(案)の作成									■	■	
地域公共交通活性化協議会の運営支援等											
各種資料作成・運営支援		■			■		■				■
パブリックコメント									■	■	■
地域公共交通活性化協議会			3		4		5				6
作業部会		←----- 必要に応じ適宜実施 ----->									
議会開催予定【定例会】		■			■			■			■

今回

第3回 石狩市地域公共交通活性化協議会